

湿害発生圃場におけるサイレージ用トウモロコシの単収向上

- ・アップカッターロータリと施肥播種機を組み合わせた耕うん同時畝立て播種機により、水田圃場等で栽培されるサイレージ用トウモロコシの湿害が軽減され、単収の向上が可能になります。
- ・耕うん、播種、鎮圧を1工程で行うことで、播種作業の省力化も可能になります。

サイレージ用トウモロコシは充実した雌穂を有し、飼料作物の中で最も栄養収量の高い作物のひとつです。



しかし、

そこで、

耐湿性が高くないため、湿害発生圃場では、単収が大きく減少します。

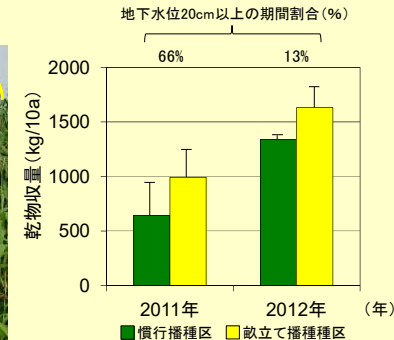
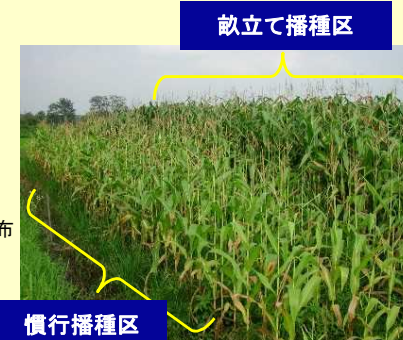
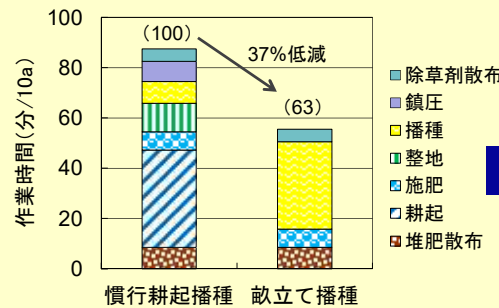


アップカッターロータリと施肥播種機を組み合わせた耕うん同時畝立て播種技術がサイレージ用トウモロコシの湿害軽減技術として活用できることを明らかにしました。



播種後に大雨が降るような条件でも、畝立て播種区ではトウモロコシの安定した出芽及び初期生育が得られます。

耕うん同時畝立て播種は1工程播種であるため、慣行耕起播種に比較し、播種全体の作業時間が短縮されます。



畝立て播種の効果は生育の後半まで継続し、地下水位が高い期間が長く、過湿な条件ほど畝立て播種の効果が高くなります。

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 畜産研究部門 企画管理部 企画連携室広報プランナー

TEL: 029-838-8292(直) FAX: 029-838-8606(代表) URL: <https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/tech.html>